



(酒田)

山形・手蔵田一〇遺跡

てぐらだ

- 1 所在地 山形県酒田市大字手蔵田字村上
- 2 調査期間 一九八七年(昭62) 四月～九月
- 3 発掘機関 山形県教育委員会
- 4 調査担当者 名和達朗・斎藤克典
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 平安時代～近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

手蔵田一〇遺跡は、酒田市街地東方約六・五km、庄内平野の水田
地帯に位置し、平田川西岸に面する河間低地の微高地、標高約六m

に立地する。県営圃場整備
事業に伴い発掘調査が行な
われた。調査面積は四五四
六㎡で、一〇世紀前後と一
三世紀前半から江戸時代後
期までの多数の土坑のほか、
井戸、溝を検出した。調査
地には寺院跡の伝承があり、
溝はその施設の区画に関係

する可能性もある。遺物には、赤焼土器を中心とする土器、陶磁器、
木製品がある。

木簡は、調査区内を北側から西側方向へ弧状にめぐる幅六・二m
深さ七〇cmの溝SD五五九から一点出土した。共存遺物には一六世
紀後半の陶磁器がある。このほか、長方形の材の一端の左右に切り
込みをもつ木簡状木製品が、不整楕円形の土坑SK一一五から二点、
長方形の土坑SK七六から五点、計七点出土している。

8 木簡の积文・内容

(1) 「【小カ】昌正正正」

147×34×3 011

習書木簡と考えられる。文字は、片面のみにある。墨痕はわずかに
確認できる程度で、判読できない部分もある。

积読に際しては、国立歴史民俗博物館の平川南氏のご教示を得た。

9 関係文献

山形県教育委員会『手蔵田一〇・一一遺跡発掘調査報告書』(一
九八八年)



(名和達朗(山形県教育庁))